

2016 年 5 月 23 日

日本ユニシス 3～5 年先のお客さまにおける ICT 活用の未来像 「Technology Foresight® 2016」を発表

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）は、3～5 年先のお客さまにおける ICT 活用の未来像をまとめた「Technology Foresight 2016」を発表しました。

日本ユニシスは、市場動向やお客さま動向、技術動向から ICT 活用の未来像を策定することで、お客さまに提供していくべき技術（ICT）の方向性を考えています。「Technology Foresight」は、2009 年の発表以降、毎年改訂を行っており、お客さまの ICT 投資や次期システムのグランドデザイン検討、ICT の将来性の知識習得などに活用されています。

「Technology Foresight 2016」の概要は、以下のとおりです。

■ 全てのビジネスに AI

多くの企業は AI を競争力強化のために活用し、その結果、AI をうまく使える企業とそうでない企業の間で AI 格差が生じ始めている。

■ クラウドが IT インフラの中心に

クラウド導入に積極的な企業では、クラウドが IT インフラの中心になり、データセンターの縮小と IT インフラを担当していた要員の再配置が行われている。

■ セキュリティリスクの拡大による対応の変化

セキュリティ対応の高度化と複雑化から、情報システム部門が自営することは限界を迎え、IT ベンダーによるマネージドサービスを活用したセキュリティ対応へと変化が始まっている。

■ スマートマシンによる産業構造の変革の始まり

スマートマシンや AI による自動化は、新たな産業革命の始まりをもたらし、数十年にわたって産業構造が変革され雇用が再配置されていく。

■ IT 駆動型ビジネスの拡大

IT は効率化のためのツールから、ビジネス遂行のためのプラットフォームに変化している。IT 駆動型ビジネスは業界構造を変化させ、活性化するとともに、混沌ももたらしている。

今後も日本ユニシスは、Technology Foresight を通じて、お客さまに提供していくべき技術（ICT）の方向性を見定め、技術力を強化していきます。

以上

■ 講演・展示のご案内

日本ユニシスグループ総合フォーラム「Nihon Unisys Group Business & ICT Strategy Forum 2016 (BITS® 2016)」の講演および展示コーナーで、Technology Foresight 2016 を紹介します。

- ・ 日程：2016 年 6 月 2 日（木）、6 月 3 日（金）
- ・ 会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京
- ・ お申し込み／最新情報：<http://bits.unisys.co.jp/2016/>
- ・ 講演：Technology Foresight と日本ユニシスの取り組み～新たな ICT 利活用に向けて～
＜C1 セッション、6 月 2 日（木）16:00~16:40＞
- ・ 展示：ICT 活用の未来像「Technology Foresight」
＜ビジネス ICT プラットフォームコーナー 18＞

※Technology Foresight、BITS は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※関連 URL：

「Technology Foresight」http://www.unisys.co.jp/com/tech/technology_foresight/

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。